市町村災害ボランティアセンター設置運営研修会

（災害救援ボランティアコーディネーター養成講座【基礎編】）

全国各地で発生している大地震や大規模水害などでは、被災者の多様なニーズに対応する力として、ボランティアやＮＰＯの重要性が改めて認識されてきています。

今後、県内でも発生する可能性のある大規模災害に備え、ボランティアやＮＰＯとうまく連携できる体制づくりを進めていく必要があります。

その取組みのひとつとして、山形県では、災害時のボランティア活動に関する基本的考え方や、災害時にボランティアを受け入れる「市町村災害ボランティアセンター」（市町村災害ボランティア支援本部）の役割などについて学ぶ研修会を開催する予定です。

関心のある方はどなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください。

開催予定日時

○ 最上会場（最上総合支庁　５階講堂）
　平成 22 年 9 月 16 日（木）13：30～16：00
○ 置賜会場（置賜総合支庁　２階講堂）
　平成 22 年 9 月 17 日（金）13：30～16：00
※参加無料ですが、事前申込が必要です。
（申込受付期間：平成 22 年 8 月 1 日～31 日予定）

研修会概要

○ 講演：「被災者中心の災害ボランティアセンターであるために」
○ 参加者同士の意見交換

お問合せはこちら

山形県生活環境部生活文化課
県民活動推進室　（担当：髙橋）
ＴＥＬ：０２３－６３０－２１２２（直通）
ＦＡＸ：０２３－６２４－９９０８
E-mail：ykemminkatsudo@pref.yamagata.jp
※申込方法などの詳細は、ＨＰに順次掲載していきます↓
http://www.pref.yamagata.jp/ou/seikatsukankyo/050001/ykemminkatsudo.html

講師紹介

社会福祉法人　宮城県社会福祉協議会
地域福祉部地域福祉課　地域福祉推進係長
北川 進（きたがわ すすむ） 氏

１９７３年仙台市生まれ。日本社会事業大学卒業。

平成 15 年に発生した宮城北部連続地震で社会福祉協議会として被災者支援を行う。その後、中越大震災や中越沖地震、岩手・宮城内陸地震などで主に災害ボランティアセンター支援を行い、それらの経験から、災害への備えは地域づくりと痛感。災害対応は社会福祉協議会本来の役割であるとして日々、地域福祉活動の活性化に努めている。

【委員等】災害ボランティア活動支援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ会議運営委員・内閣府防災ボランティア活動検討会委員・東北文化学園大学非常勤講師ほか